

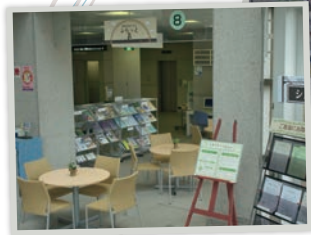
情報交流ひろば

ふらっと



藤井寺市役所
1階ロビー

パンフレットスタンド



ちょっと立ち寄っておしゃべりしたり、
ミーティングなどいかが？



市政情報をはじめとするチラシ等を
カテゴリ別に置いています。

「ふらっと」に、ふらっと立ち寄って

人と人をつなぐ市民活動マガジン

HITOTSUNAGI

ひとつなぎ

Vol.3

市民活動やボランティアを
はじめたい人・している人
必見！

- P.1 協働のまちづくりと市民活動
- P.3 対談～青年実業家が語るまちへの関わり方～
- P.7 座談会～PTAイメージ改革～
- P.9 活動をシルミル
- P.16 よくある市民活動のギモン
- P.17 自治会 de ボランティア活動！

協働のまちづくりと市民活動

“協働”という言葉聞いたことはありますか？

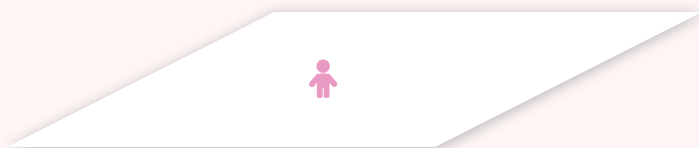
みんながそれぞれ“まち”に関わり、時にはお互いの長所を生かしながら協力しあうということなんです。

“協働”で“まちづくり”をすることで、さらに住みやすい“まち”になっていきます。

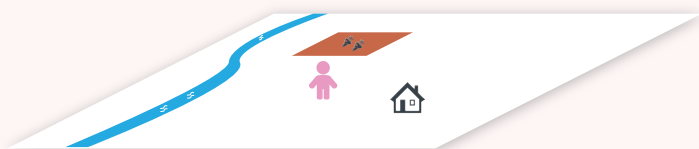
えっ？イメージが湧かない？

そんな人には、例えばこんな話…

ある“ひと”が、何も無い土地で一人暮らしを始めることにしました。
もちろん相談したり協力してくれる人もいません。



だけど、その“ひと”は頑張って、小さいながらも家を建てました。
少し遠くの川から水をひきました。その近くに畑を作り、種をまき、野菜を育てました。



そんなある日、1人の“ひと”が訪ねてきました。
「旅をしているところに行きついた。私は野菜を作るのが上手いんだ。
野菜を作る代わりに一緒に住まわせてくれないか。」
すると、色々な種類の野菜がどっさり収穫できるようになりました。



またある日、1人の“ひと”が訪ねてきました。
「私は家づくりの匠。丈夫な家の建て方を教えるからここに住まわせてくれないか。」
すると、台風でも倒れない大きな立派な家が建ちました。



こうして、“ひと”と“ひと”がつながり、それぞれの得意なことを生かして、農場ができたり、お店ができたり、道路ができたり。いつしか何もなかった土地が“まち”になりました。



今や“まちづくり”というと施設や道路を作るだけではありません。
例えば、「公園や道路の清掃活動」・「子どもや高齢者の見守り活動」・「子育てママが一息つける場づくり」・「絵本の楽しさを知ってもらうためのおはなし会」・「野良猫が繁殖しないための仕組みづくり」・「食の知識を広めるための料理教室」など、様々な取り組みがあります。

その中で“まち”に住んでいる人・働いている人・関わっている人の活動を“市民活動”と呼びます。“ひと”と“ひと”がつながることで“市民活動”をさらに素敵なものにしていきたい、そんな思いでこの冊子「HITOTSUNAGI ~ひとつなぎ~」を発行しています。

この冊子では、様々な市民活動やその醍醐味を紹介します。

ぜひ、あなたも市民活動をはじめませんか？



清水 柁人

Shimizu Masato

藤井寺市商工会青年部部長。藤井寺ライオンズクラブ会員。眼科や洋服屋を営むかたわら、藤井寺市青少年指導員会会長など多くの市民活動を精力的に行っている。

青年 実業家が語る まちへの関わり方

木戸 慎司

Kido Shinji

藤井寺青年会議所理事長。新しい理事長として、まちのために何ができるか模索中。普段は建築会社の代表で、自分の家も自ら建設。

僕たちがしていること、できること。

清水 藤井寺市商工会青年部は、若い事業者たちが集まって情報交換する場です。例えば、お互いの仕事について紹介しあう会員研修をしています。商売に対する考え方や秘訣などを聞くことで、全然知らない業界のことを知れて面白いですよ。

木戸 「仕事をお願いするならこういう業者を選んだ方がいいよ」とか情報交換もできますよね。

清水 研修で話を聞いて、新たなアイデアが生まれることもあります。ある美容院ではサンキューカードといって、業務の中で従業員同士、助けてもらったときに“ありがとう”の気持ちをカードに書いて箱に集めておくんです。そうすると、今月は自分がどれだけサンキューカードもらったかなって楽しみになる。美容院ならではの職場環境づくりじゃないですか？自分の職場でも取り入れたいなと思いましたね。

木戸 事業者同士、参考になることってありますよね。清水さんは藤井寺ライオンズクラブ（以下、ライオンズ）のメンバーでもあるんですね？

清水 そうですね。ライオンズは「We Serve」をコンセプトに献血のPRをしたり、清掃活動をしたり。今年度は、家族で憩ってもらえるイベントとして四天王寺小学校さんや藤井寺青年会議所（以下、JC: Junior Chamber）さん、藤井寺駅周辺まちづくり協議会さんなど多くの方と協働させて頂き、「藤井寺ファミリーフェスタ」を開催しました。JCさんも今年度新しいイベントをしましたよね？

木戸 「ママ友をつくろう！赤ちゃんフェスタ」を開催しました。赤ちゃん和妈妈、総勢150人も来てくれました。子育て中は外に出るのが大変だし、億劫になって家にこもってしまい、悩んでしまいがち。そこで、JCとして何ができるか考えました。イベント

では親子でヨガをしたり、グループに分かれて交流会やクイズ大会をしました。子育てをしているママ同士だから、初対面でも自然と話が盛り上がるみたいで、「ママ友が増えました」という嬉しい声をもらったりもしました。

清水 150人も集まったんですか！悩んだ時に相談できる友達がいるとすごい助かりますよね。親子ヨガやクイズ大会はママに人気なんですね。

木戸 実は、どんな企画にするかも色々議論がありました（笑）最初は、誰にも頼れなくて家で一人で困っている人を助けられたらと思いました。でも、「家の外に出るのが億劫になっている人がこういうイベントに来てくれるのか？」という疑問が湧きました。確かに、それは難しいのかなと思いました。僕たちJCができる事は、家にこもって一人になってしまわないように、普段から相談しあえるママたちのつながりを作るという事かなと。

清水 イベントに来る人は積極的で活発な人が多いですよ。でも、悩んで引きこもってしまう人はむしろその逆。イベント情報を届ける事自体、難しいですよ。この事業は今後も続けていく予定ですか？

木戸 今回は市の広報紙に掲載してもらいましたが、もっと色々な人や事業者の方に協力をお願いして情報発信すればよかったかなと思います。僕たちの認識では、イベントはあくまで一過性のものに過ぎず、その後日常に定着することが大切だと思います。今回のイベントで知り合った人たちが、自分たちで気軽に集まってくれるきっかけになると嬉しいです。JCの特徴としては、ずっと同じ事業を続けていくというより、色々な事業をして、そういうきっかけづくりをしていきたいと思っています。

清水 それぞれの団体や人が、得意な事や特徴を活かして活動していくっていうのは大事ですよ。「ま

ちづくり」も行政が全部担うんじゃないで、例えば商業を担っているのはやっぱり地域の企業や事業者。まちを盛り上げるために商人が「市民活動」をするのもアリなんじゃないかな。イベントをやるのも一つだし、例えば、眼科なら無償で検診をしたり、メガネを貧困な子どもたちに寄附したりとか。商人や企業が地域に関わっていくというのも大事だと思います。

きっかけは、あの人に誘ってもらったから。

清水 僕は最初、藤井寺しゅらロータリークラブ（社会奉仕団体、平成26年に解散）に入っていて。その時、JC とライオンズと一緒に三団体でイベントをした事があったんです。プールに某バラエティ番組の城を模したものを作って、浮かべたんです。そこにメンバーが乗って、子どもたちがプールサイドからボールを投げて当てるという（笑）そのイベントを一緒にやったことで、仲良くなってライオンズに入りました。その後、人のつながりで商工会青年部にも誘ってもらって。

木戸 僕は、会社から独立して起業した時にお世話になった人に誘ってもらったのがきっかけです。その人に誘ってもらったからには、全力で活動に取り組もうと思いました。人のつながりで入人が多いので、メンバーの中には、藤井寺在住じゃない人も結構いるんですよ。



▲藤井寺ライオンズクラブが四天王寺小学校のグラウンドで開催した「藤井寺ファミリーフェスタ～春の芝生の上で～」。藤井寺青年会議所や藤井寺駅周辺まちづくり協議会などと協働で行った。

清水 ライオンズにも摂津から来てくれている人がいます。その場所に住んでいるから活動するというのももちろんありますが、「誰に誘われたか」というのが、活動を始めよう・参加しようと思うきっかけとして一番大きいと思います。活動しているうちに在住じゃなくても藤井寺に愛着が湧いてくるみたいですね。

こんな経験ができるのは、市民活動ならでは。

木戸 JC の色々な活動に携わった中で、自分が中心となってわんぱく相撲を運営した時が、一番思い出に残っています。藤井寺場所は藤井寺の JC が開催していますが、全国の各市町村の JC が連携して事業を行っています。藤井寺場所を勝ち抜けば大阪府大会、さらには全国大会へと進み、両国国技館で相撲をとれます。小学生の真剣な顔が見られたり、去年参加した子が練習してリベンジに来てくれたりするとすごい嬉しいし、涙が出るくらい感動しますね。

清水 分かります！僕は、最初は、商売の横のつながりを作りたい、上手く事業をしている人の話を聞きたいと思って参加していました。だけど、活動するうちに目的が変わってきたんです。誰かが喜んでくれることを一生懸命取り組んで、「ありがとう」と言ってもらった時は、とても感動するし、人に喜んでもらえるような事ができたという嬉しさもあるんです。「あっ、自分にこんな一面があったんや」って思いますね。こんな経験ができるのは、市民活動ならではですかね。

一人の人間として純粋に仲良くなれるんですよ。

清水 ライオンズはメンバー年齢層の幅が広いんです。でも、年功序列という風潮がなく、自由に意見を出し合って聞くという雰囲気がついています。そのおかげで楽しく活動できていると思いますね。長く活動を続けてきた人を見ると、どういう性格・人柄なら物事を上手く進めて行けるのかという事を学ぶことができますね。それはビジネスにも活かせるところかなと思います。

木戸 仕事上の立場や年齢が違って、市民活動する上では同じ立場。なので、JC は大企業の社長が委員で、個人事業主が理事長ということもあります。あくまで活動の中で役割が決まるというのが市民活動の魅力だと思います。とはいえ、役割によって上下関係があるわけではなく、みんなで気兼ねせずに意見を出し合うという事を一番大事にしています。

清水 ライオンズは奉仕が前提なので、あくまで善い心で活動しよう。なので、団体を牛耳ろうとか儲けるために利用しようという人は必ず淘汰されます。ただ、活動を通じて、この人は本当に信頼できる人間だなと思ってもらえたときは、仕事を任せてもらえることはありますね。

木戸 おっしゃる通りですよ。僕も建築屋なので一件あたりの金額が結構張ります。例えば、異業種交流会で出会ったとしても、いきなりリフォームお願いしますって話にはなりません（笑）でも、JC で活動して周りの人達に責任感のある人間として認めら



▲藤井寺青年会議所が開催した「ママ友をつくらう！赤ちゃんフェスタ」。普段から子育ての事を相談し合えるママ同士のつながりをつくるために開催。



れたときは、仕事につながることもあります。もちろん、仕事をもらおうと思って活動しているわけでは全くないですけどね。「まちづくりに関わって一緒に活動する」というプロセスを通じて、事業者や企業同士のネットワークが強まっていくものだと思います。単純に値段だけで見たら、やはり大手企業が勝ってしまう時代。そういったネットワークをいかに作っていくかというのが地域の中小企業の強みになるんじゃないかなあと思いますね。「商品・プランではなく、人同士がつながる」ということですよ。

清水 「まちづくり」も一緒ですよ。市内には色々な団体や企業があるけど、それぞれのネットワークがあるかないかによって「まち」の力が変わってくると思います。市民活動を通じて、一人の人間として純粋に仲良くなれるんですよ。一緒に語り合っ取り組んだ同志というか（笑）そういったつながりがあると、何か取り組む時も「よっしゃ、あいつの頼みやったら協力しようか！」と協力し合える。そうして、「まち」としての力が強くなっていくんだと思うんです。

木戸 先ほどのライオンズさんと四天王寺小学校さんのイベントみたいに、それぞれの団体や人が連携したり、協働できると、もっと特徴的な幅広い取組ができるんじゃないかなと思います。そのためには、まずはお互いが顔見知りになって信頼関係を築くことが大事だと思います。それこそ人と人がつながるとい「HITOTSUNAGI」が大事かもしれませんね（笑）

image Parent 改革 Teacher Association

読者のみなさんも一度は耳にした事のある「PTA 活動」、それも市民活動の1つです。最近、藤井寺小学校の PTA 活動の雰囲気が変わってきた？そんな噂を聞きつけて、役員の皆さんにインタビューしてきました！

PTA ってどんな活動をしているの？

● ひと言でいうと「子どもたちが“良い”学校生活を過ごすための親たちの活動」です。例えば、運動会。藤井寺小学校は児童数が多い分、来場者も多いんです。お互いに気持ちよく過ごすにはどうしたらいいかを考えたりします。

▲ 親子で一緒に学ぶ研修会を企画することも。藤井寺は道が狭いから、交通ルールを確認して、スピードや飛び出しに気をつけるようにと、「自転車の安全運転教室」をしました。藤井寺自動車教習所さんに講習をしてもらえないか頼みに行ったところ、その日がちょうど無事故無違反の日で（笑）快く引き受けてもらえました。

役員を引き受ける事になったきっかけは？

● 隣の家のママ友に誘われたのがきっかけです。最初は PTA という「大変」「負担」というイメージ（笑）でも、活動すると学年の違うお母さんとも仲良くなれるんです。

▲ 役員だけが PTA と勘違いされる事もありますが、実は親は全員 PTA。その中でクジに当たって役員を嫌々やるより、友達と一緒に自分から楽しんでやった方がいいかなって思いました。



— 藤井寺小学校 PTA 役員のみなさん —

平成 30 年度公益社団法人日本 PTA 全国協議会会長表彰を受賞！

役員をして良かったことは？

● 先生と話す機会が多くなって、子どもたちによく親身に向き合ってくれていることが分かりました。最近は先生と子どもの距離感も近くて、校長先生が九九の試験をやってくれたりするんですよ。忙しくても PTA や子どもときっちり向き合ってくれているのを感じるので、安心して子どもを通わせることができます。

▲ 役員をしていて、先生以外に地域の人たちにもすごく支えてくもらっているんだと感じました。暑い日も寒い日も登下校の見守りをしてくれたり、「防犯カメラより人の目」が大事だなあと感じますね。

■ 「家庭科室のフライパン、ポロポロで焦げ付いてるなあ」と話をしていたら、地域の企業さんが「卒業生なのでぜひ協力したい」と言ってくれて、フライパンを寄附してくれました。学校や子どもたちのことを気にかけてくれる人がいて、とても嬉しかったです。

どんな雰囲気で活動している？

● 「役員って大変そうやん。」と言われることもありますが、実際やってみると楽しいですね。最近の良い雰囲気なのが伝わってきたのか、役員に立候補する人が増えました。

▲ PTA の活動や雰囲気を変えていきたいという会長の想いを聞いて、役員も学校もそれに賛同して一緒に取り組んできました。その結果が表彰というカタチになったんだと思います。

雰囲気を良くするための秘訣は？

● まず、参加を強要せず、個人や家庭の都合を優先するよう伝えました。大きな意識改革でしたが、それでもみんな会議に自主的に出席してくれるんです。次に、PTA がどんな活動をしているか知ってもらうために、活動するときは、自分たちで作った PTA の T シャツを着るようにしました。また広報紙は、なるべく多くの人に興味を持ってもらえるよう、写真を多く使い、見せ方を工夫しました。



↑ 学校生活や PTA 活動を知ってもらうために、広報紙のデザインや内容を工夫。広報紙のタイトル「HIROBA」には「子ども・保護者・学校の先生が繋がるモノ」「小学校の中の“ひろば”＝運動場」という意味が込められており、HIROBA の“O”をキーにデザインされています。（写真は広報紙 124 号）

▲ 毎月 1 回のペースで会議をしています。顔を合わせる回数が増えたと自然と仲が良くなり、意見が言いやすくなるんですよ。お互いの考え方が分かるようになります。

■ 会議の回数は増やしましたが、逆に組織は見直して整理しました。「この委員いるの？」とか「やり方変えた方がいいんじゃない？」とか。学校もその意見を受け入れてくれて。「やるからには楽しくやろう！」をモットーに活動しています。

これからどんな取り組みをしていきたい？

● 親同士の交流を深めたいですね。「先生チーム」VS「お父さんチーム」でソフトボール大会とか（笑）それを子どもたちが応援するのも面白いんじゃないかな。「僕、パパじゃなくて、先生応援するわ！」みたいな子もいるかも（笑）

▲ 最近は、個人情報保護のために、連絡網が配られませんが、だから個別につながっていくしかなくて。でも、子どもが友達の家遊びに行くと行って出かけたものの、誰の家に行っているのかわからなかったり、いざという時連絡できないと不安じゃないですか。

■ そのためには親が普段からお互いの事を知っている方がいいですね。そのための交流の場を作っていきたいですね。



活動を

シルミル

「どんな活動をしている団体があるの？」

「もっと色々な団体と交流したい！」

と思ったら要チェック！

藤井寺には、美化活動や子育て支援の活動など、藤井寺を元気にする市民活動団体がたくさんあります。ここでは、そんな団体をご紹介します。



手話サークルふじいでら

手話を学びながら、聴覚障害者との交流を深めています。関係する施設での見学やボランティア活動も行っています。藤井寺市でも手話を言語として広めていこうという取り組みが進められる中、広く市民の方々に手話を知ってもらえるよう活動しています。

活動場所 福祉会館
活動日時 水曜日 19時～21時
※第2・第4週は10時～12時も活動
問合せ先 太村 072(953)5882



自助具の会 なでしこ

生活に不自由を感じている高齢者や障害者が、少しでもスムーズに生活を送れるようにと、自助具や介助具を作っています。ほかにも、体が不自由になって着られなくなった服のリフォームも行っています。和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。

活動場所 福祉会館
活動日時 第2・4金曜日 10時～16時
問合せ先 糺谷 072(953)3526



藤井寺市朗読の会 ひびき

視覚障害者のために、毎月「声の広報ふじいでら」「声の雑誌ひびき」など、対面朗読や音訳CD・デージー図書の作製を行っています。リスナーさんの「毎月、楽しみにしていますよ」の声を励みに、朗読の勉強に力をいれています。

活動場所 図書館・福祉会館・アイセルシユラホール
活動日時 不定期
問合せ先 図書館 072(938)2197



さといもの会 (子育て応援楽しみ隊)

0～4才までのお子さんを持つママを応援しようと「さといもさろん」と「さといも文庫」を開催。絵本の読み聞かせ、わらべうた遊び、絵本の貸出、お散歩やお昼ご飯を食べたり。スタッフは、子守りとおはなしが大好きなメンバーや元保育士・看護師・栄養士。お気軽にお越しください。

活動場所 専念寺 (津堂 2-4-3)
活動日時 さといもさろん 第3木曜日 10時～12時30分
さといも文庫 第4木曜日 10時～11時30分
問合せ先 細木 090(9116)4093



NICE! 藤井寺バンド

“認知症になってもいきいき暮らせるまち”“笑顔あふれるまち”を目指し、老人ホームや市役所前広場などでライブを行っています。「NICE! 藤井寺バンド」の“バンド”は人と人をつなぐという意味。音楽を通して地域住民の親睦を図り、人と人をつなげることを目標に活動しています。

活動場所 ふれあいプラザ・松水苑・自治会など
活動日時 火曜日・木曜日 13～17時
問合せ先 二井 090(6600)2108



イベントサークルクローバー

大好きな地元で、色々な人が交流して楽しめる場所を作りたい。そんな思いで、「クローバー手づくり市」を開催しています。他にも、「パープルフェスタ」、「よさこいインふじいでら」との合同企画も開催。楽しい事が大好き！という方、ぜひ一緒に活動しましょう！

活動場所 パープルホール・LIC はびきの
活動日時 年3回程度
問合せ先 中辻 090(9988)0766



藤井寺市食生活改善推進協議会

栄養バランスのとれた食生活から健康づくりを広め、介護予防につなげたいとの思いで活動しています。夏休みには親子クッキングを行い、乳幼児健診では、手づくりおやつを提供し、食に関する正しい情報と手づくりの大切さを伝えています。

活動場所 保健センターなど
活動日時 不定期
問合せ先 市健康課 072(939)1112



ほっとタイム - 親の会 in 藤井寺 -

学校に行かない・行けないといった子どもをもつ親同士の集まりです。気兼ねなく話せて、少しでもホッとできる交流の場として会を開いています。子どもの年齢は小学生から30歳代くらい。学校や社会との付き合い方や暮らし方も様々です。同じ立場の人同士話合ってみませんか。

活動場所 パープルホール
活動日時 第1月曜日 10時～13時
 (祝日の場合は第3月曜日)
問合せ先 里中 080(3132)2845



ふじいでらブロカント

「長く愛されてきた、古き良きモノ達との出会い」をコンセプトに、食器・物入れなどの古道具や、人形などのアンティークを中心とした市を開催しています。市民の方や他市から来られた方に「藤井寺市にも、こんな魅力的な骨董市(ブロカント)があるんだ!」と楽しんで頂きたいです。

活動場所 市役所前広場
活動日時 年4回
問合せ先 西山 090(7768)5492



よさこいサークル不知火組

健康促進・認知症予防のために、楽しくよさこいをしています。体育館で練習して、市内や近畿圏内のよさこいイベントに参加しています。色々な年代の方が楽しめるようなよさこいを目指しています。初心者の方でも大歓迎ですので、お気軽にお越しください!

活動場所 市民総合体育館
活動日時 土曜日 19～21時
問合せ先 竹崎 090(1919)3813



藤井寺市母子寡婦福祉会

藤井寺市内の母子家庭や寡婦の方で、情報共有・仲間づくり・母子福祉の向上を目的に活動しています。同じ立場を経験してきた仲間だからこそ、理解し合えることがたくさんあります。孤立しがちなお母さんを支え、生活の向上を図る活動をしてみませんか?

活動場所 福祉会館
活動日時 第1・3火曜日 9～17時
問合せ先 福森 072(973)2652



クリーンボランティア一粒会

駅周辺の清掃を通じて、地域社会のモラルとマナーの向上を目指しています。たばこの吸い殻や空き缶など、ゴミが少なくなったことを実感できると、気持ちもスッキリ! 藤井寺をきれいなまちにしましょう。

活動場所 藤井寺駅周辺
活動日時 第3日曜日 9～10時
問合せ先 松山 072(955)1268



地域活動栄養士会オリーブ

近頃、朝食を食べない人の増加や伝統的な食文化が失われつつあるなど、食に対する意識が希薄になりがちです。私たちは食育や高齢者栄養などの勉強を行い、地域の皆様の健康づくりに関わっています。料理教室や食育講座の依頼もお受けしています。

活動場所 藤井寺保健所など
活動日時 第2月曜日(定例会)
問合せ先 藤井寺保健所企画調整課栄養士 072(955)4181



NICE! 藤井寺・松水苑健康デカ麻雀クラブ

手づくりの大きな木製の麻雀牌を使って、和気あいあいと健康麻雀を楽しんでいます。高齢者の引きこもりや認知症を予防し、健全な老後を過ごすことを目指して活動しています。初心者も大歓迎ですので、お気軽にお越しください!

活動場所 松水苑
活動日時 第1・3土曜日 10～15時
問合せ先 下里 072(953)7502



ほっとスペース

藤井寺市を中心に心理カウンセリング・対人援助をしています。カウンセリングを受けることは特別なことではありません。悩みにとらわれず過ごしやすいように、共に考えましょう。カウンセリングを受けることが「当たり前」になることを願いながら活動しています。お気軽にお問い合わせください。

活動場所 ブログ・Facebookにて掲載
活動日時 <https://blog.goo.ne.jp/hotto8010>
問合せ先 松本 090(9057)8010(着信専用)
 ☎ hotto8010@gmail.com



ふじいでら手づくり市実行委員会

葛井寺・辛國神社を中心に藤井寺に面白いイベントを増やして、まちを活性化させたいとの思いから、手づくり市を開催しています。木工、雑貨、焼き菓子など種類は様々！手づくりでこんなものができるんだと感動します。ぜひ、一緒に楽しい手づくり市を作りましょう！

活動場所 葛井寺・辛國神社・ブクンダ公園
活動日時 年4回
問合せ先 西山 072(937)1997



子育て支援グループアイセル

「地域で子育て」をモットーに、子育て中のママの仲間づくりをサポートしたいとおしゃべりサロンを開いています。核家族化が進み、子育てのちょっとした悩みを気軽に相談できる相手が減ってきています。ぜひ、「子育てママのおしゃべりサロン」に参加して、同じ境遇の仲間を作りませんか。

活動場所 アイセルシュラホール
活動日時 第3水曜日 10時30分～11時30分
問合せ先 松島 090(3673)8721



おはなしころりん

昔話を覚えて、子ども達に語っています。おはなしの楽しさを伝えるために図書館・幼稚園・保育園・小学校などで、おはなし会を開いています。子ども達がおはなしを聞きながら目をキラキラさせているのを見ると、心が安らぎます。

活動場所 図書館（第2・4土曜日）
アイセルシュラホール（第3土曜日）
問合せ先 図書館 072(938)2197



グループみらい

男女共同参画に取り組んでいます。ミーティングでの話し合いの中で、日々の生活には男女特有の問題があることに気づかされます。その気づきを自分らしく生きるヒントにつなげられるよう活動しています。また、ミーティングで出たアイデアを生かして講座の企画・運営を行っています。

活動場所 男女共同参画ルーム
(パープルホール本館3階)
活動日時 月2～3回程度 ※定例会は第2水曜日
問合せ先 難波 072(955)2746 (FAXのみ)



お手玉サークル遊

最近、加齢による虚弱（フレイル）対策が話題になっています。昔ながらのお手玉や、ゴムつきのヨーヨーお手玉を使った体操は脳トレになります。笑いながら全身体操をすることで集中力がつき、健康寿命を延ばす効果があります。老若男女、年齢を問いません。一緒に楽しみましょう。

活動場所 福社会館
活動日時 第1水曜日 13時30分～
第4火曜日 10～15時
問合せ先 吉留 072(939)0799



傾聴ボランティアやまびこ

傾聴ボランティアとして、地域の老人施設を訪問して、利用者の方の様々な思いや言葉に耳を傾けています。その方のお話を聴き、穏やかな表情を見ることができると、少しは気持ちに寄り添えたかなと嬉しくなります。

活動場所 老人福祉施設など
活動日時 月7回程度
問合せ先 金銅 072(952)9656



藤井寺市青少年リーダー協議会

地域の子ども会行事に出向き、クリスマス会やお楽しみ会で、レクリエーションやゲームなどの遊びを子ども達と一緒に楽しんでいます。子どもにリーダーネームを覚えてもらったり、「楽しかったよ」って言ってもらえるのと疲れが吹き飛び、やりがいを感じることができます！

活動場所 アイセルシュラホール、各小学校など
活動日時 不定期
問合せ先 市教育委員会 生涯学習課
072(952)7800



点訳サークル藤井寺六星会

視覚障害者の方々のために、広報ふじいでらの点字版をはじめとした様々な本の点訳や、視覚障害者の会（たんぼぼの会）との交流会を行っています。目の見えない人と見える人が一緒に絵本を楽しめるように、透明なシートに文章を1点1点コツコツと手打ちしています。

活動場所 福社会館
活動日時 火曜日 10～17時
金曜日 13～17時
問合せ先 社会福祉協議会 072(938)8220



ママの働き方応援隊 大阪南校

0～3歳までの赤ちゃんと一緒に、学校や高齢者施設などに出向き、赤ちゃんとふれあうことで命の大切さを伝える活動をしています。「赤ちゃんと一緒に活動したい」、「社会や地域とつながるきっかけがほしい」と考えている方は一緒に活動してみませんか。

活動場所 ホームページに掲載
活動日時 「ママハタ」で検索
<https://www.mamahata.net>
問合せ先 岡部 080(5213)9180



春日丘いぬ・ねこ会

春日丘地区を中心に TNR 先行型地域猫活動（野良猫に不妊手術を行い、元の場所に返す）や、保護された猫や犬に“ずっとのおうち”を見つける活動を行っています。その他にも、獣医さんによる勉強会なども実施中！活動に興味のある方のご連絡をお待ちしています。

活動場所 春日丘地域
活動日時 ホームページにて掲載
<https://kasugaokainuneko.amebaownd.com/>
問合せ先 @nanakouchans@yahoo.co.jp



サンフラワー

子どもの発達に悩む親の仲間づくりや情報交換の場として、おしゃべり会「ピアママズ」を開催しています。専門家や療法士、ペアレントトレーナーなどのゲストをお招きするスペシャル会も年に数回開催しています。子育てで悩んだら抱え込まずにおはなしに来てくださいな。

活動場所 福祉会館・松原市は一とビュー
活動日時 月1回程度
問合せ先 LINE ID: @ewl1275d
sunflower0852525@gmail.com

シルミルれぽ〜と

市内で活動している団体を募集中！

市民活動団体を取材し、活動をはじめたきっかけや魅力を記事にして、市の広報紙に掲載しています。

取材の依頼は藤井寺市協働人權課へ
 市役所1階④番窓口 ☎ 072(939)1331

シルミルいんぷお

市役所1階ロビー

市民活動団体のPRチラシやイベントチラシを置いてあります。きっと素敵な活動が見つかりますよ。

よくある市民活動のギモン？

ギモン①

新しく活動を始めたいけど、何から始めればいいのか？

まずは、「何のために」・「誰に対して」・「どのようなことを」・「どのようにするか」を整理して、事業計画を立てましょう。他人に計画を話してみても、第三者の視点からアドバイスをもらうことも大切です。市民活動相談会を活用してみてください。

ギモン②

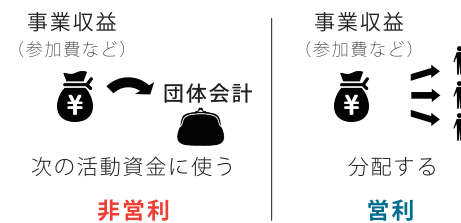
継続的に活動を続けていくためにはどうすればいいの？

一人が中心人物になり続けるのではなく、メンバーで役割を循環させていくことが大事です。また、活動費用に関しても、会費で賄うのも一つの方法ですが、それだけではしんどくなるもの。参加費をもらうなど資金を集めることも考えてみましょう。

ギモン③

参加費をもらったり、人件費を計上したら営利になるの？

営利とは、参加費などをもらい、収益が出た場合にそれをメンバーで分配することをいいます。次の活動資金として使うのであれば非営利といえます。また、人件費は労働の対価であって、分配にはあたりません。例えばアルバイトを雇ったからといって、営利になるという訳ではありません。



ギモン④

活動を効果的にPRするには？

メンバーや参加者を増やすためには、活動を効果的にPRすることが不可欠です。「ホームページやSNSを活用しよう！」そんな人も多いのでは？

しかし、そこには落とし穴が。これらの媒体は作製するだけでは、PRにつながりません。まずは、落ち着いて「どんな人に情報を見てほしいか」を考えてみましょう。例えば、75歳くらいの人に見てほしい時、SNSをチェックしている人がどれくらいいるでしょうか？そういう場合、口コミやチラシのほうが有効かもしれません。

また、チラシをどういった場所で配るのか、どんな内容が興味を引くのかなど情報を発信したい対象がどんな人なのかを意識するようにしましょう。

市民活動に関する疑問やお悩みを相談できる場所があります！

市民活動相談会

詳しくは [藤井寺市 市民活動相談会](#) [検索](#)

専門家に個別で相談できます。市役所1階情報交流ひろば「ふらっと」で月2回実施しています。



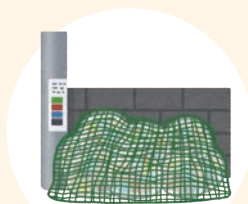
自治会 de ボランティア活動!

「自治会」というと、皆さん一度は耳にしたことがありますよね。でも、どんな活動をしているか知らない方も多いのでは？ここでは活動の一部をご紹介します。実は、自治会って皆さんの日々の暮らしに密着した活動なのかも。



ごみステーションの場所を管理しているのは **実は!**

ごみステーションの場所は市やごみの収集業者が決めていると思っている人も多いのでは？実は、隣近所の人が実情に合わせて場所を決めています。カラス除けネットやゴミ出し後の清掃など、皆さんで協力しながらステーションは管理されています。



ごみステーションの管理

防犯カメラを普及しているのは **実は!**

防犯カメラを普及しているのは、市や警察だと思いませんか？実は、自治会が地域の安心・安全のために取り組んでいます。防犯カメラがあることで、犯罪抑止につながっています。



防犯カメラの普及

子どもが安全に通学できるのは **実は!**

子どもが学校へ行く時、見守り活動をしている人を見かけませんか？実は、自治会や地域の人協力して、子どもが安全に通学できるよう見守ってくれています。毎日挨拶をすると地域の絆が深まりますね。



子どもの見守り

他にも気づいていないところで **実は!**



防災訓練



地域の清掃



交流イベント

船橋町内会

区長 松永 吉成 さん

区長 さんに
インタビュー!



子どもも大人も
自治会に参加して
にぎやかになると嬉しいなあ~



■船橋町内会のユニークな取組みを教えてください。

これまで地藏盆や秋祭りという、お菓子を配るなどして参加者を集めていましたが、今はそれじゃ子どもたちが興味をもってくれなくなってきて。そこで考えたのが「参加型・体験型」にして、地域の人との「つながり作り」をメインにすることにしました。地藏盆と一緒に会館でおもちゃ作り教室を始めました。たまたま地域におもちゃ作りの得意な人がいて、その人が中心になって行事を進めてくれてとても助かっています。秋祭りは、広場でターゲットセブンというゲームを参加者全員でやるんですよ。町内のお年寄りの人から子どもまでが参加して、白熱したゲームが繰り広げられて面白いですよ。これだけ幅広い年齢層が交流できるのも、地区行事の良さですよ。

■「つながり作り」で難しいと思ったことはありますか。

よく行事に参加してくれる人は、お顔を見ただけで「〇班の〇〇さんやね」とわかるんですが、中にはあまり行事に参加してくれない人やそもそも無関心な人もおられます。一昨年台風21号の際に、会館を臨時で避難所として開ける準備をしました。当時、大和川の危険水位を超えたこともあり、避難情報や状況の問い合わせに次々と来られました。その中に「私の家族も避難したいのですが!」と尋ね

てこられた人がおられました。でも町会の役員は、その人がどこの誰とも知らない。話を聞いてみると、行事にも参加したことがなく、隣近所のお付き合いもしていなかったようです。その時に、日頃地域の人とつながりがない人がいることを痛感しました。そういった人に、これからどうやって関わっていけばいいか難しいところですね。

■区長さんにとって自治会はどういう存在ですか。

自治会って、空気のように、なくてはならない大切な存在だと思っています。昨年の災害の時にも実感したことです。いざという時に一番頼りになるのが隣近所の人たちです。「大丈夫ですか?」といった声の掛け合いが、支え合い、助け合いにつながっていると思います。最近は皆さん毎日忙しくて、隣の人もなかなか顔を合わせる機会がないようですね。そのため、自治会の行事には多くの人に参加してもらえるように工夫しながら、地域の人たちが顔見知りになるきっかけをこれからも作っていきたいです。

